

— 現地赴任者のための —
実用ウルドゥ語会話
初歩の初歩

ペシャワール会編

1996年3月

一般に現地語学習は、現地とのコミュニケーションで必要とされるばかりではなく、その文化や人々のものの考え方を知るうえで大切である。機械的に翻訳しても、その状況の中でしか意味の伝わらぬ事も多い。

しかし、日本ではJICA（国際協力事業団）の海外青年協力隊を除いては、本格的に現地語学習ができる場は極めて限られている。現場に赴いて泥縄式に学ばねばならぬのが実情で、表面的なふれあいで終わりかねない。特にペシャワールでは、満遍なく人々と意志の疎通をはかるには、ウルドゥ語・ペルシア語（ダリー語）・パシュトゥ語が必要で、わずか二三年で全てを習得するのは不可能といってよい。さらに加えてペシャワールでは、公文書などは英語が使用され、市民の母語ヒンドゥコ語やパンジャービー語、トルコ語、チトラール語なども話され、時には地元住民どうしでさえ通訳が要る状態である。

ウルドゥ語は、文法的にはパシュトゥ語に近く、語彙はペルシア語が多い国際語の一つで、一旦習得すれば他の言語理解も困難ではなくなる。パキスタンの大都市ではウルドゥ語学校もあるが、英語を介するので日本人ワーカーには不利である。ペシャワール会では、現地へ赴くワーカーやボランティアのために、とりあえず「泥縄式」でも速やかに意志疎通できるよう配慮して、小冊子をまとめてみた。

ウルドゥ語の教科書は最近日本でも少なくないが、独修は大変困難である。我々は「語学習得」よりも「意志疎通」に重点を置き、細かな文法的記述を大幅に省いて要点のみを記し、学習者が会話理解しやすいように配慮した。

従って、細かな点は他の入門書を参考に本冊子を活用してもらおうとよい。先ず「話せるようになること」が主眼で、多少の文法的な誤りは目をつぶって編集している。集中すれば数週間で基本的な会話が可能である。

ウルドゥ語はパキスタンの共通語であるが、これを母語とするものは人口の数パーセントも満たず、地方によってかなり違いがあり、最近では英語からの借用も極めて多い。

ペシャワールの一般庶民の間で話されるウルドゥ語（それが我々の目標でもある）の特徴は、①敬語が少ないこと、②命令調や荒い表現、③ペルシア語の語彙、④単純な表現が多いことなどで、我々には覚えやすい。

ことばが通じるという事は大変楽しいもので、たとえ拙いものであっても、現地の人々は親しさを特別に覚えるものである。本冊子を活用して早く現地になじみ、短期滞在の協力者でも「ペシャワール」がいつそう身近になることを祈ります。

（参考書）入門には以下のものが優れている；

ウルドゥ語入門（泰流社・蒲生礼一著）

Spoken Hindustani（語研・米国陸軍省編纂）

「Urdu I・II」 Missionary Language Board of Pakistan

基礎ウルドゥー語読本（大学書林・鈴木武著）

I. 発音

長母音 ; a-, e-, i-, o-, u- 日本語の「あー、いー、うー、えー、おー」の短め

(鼻音) a~, e~, i~, o~, u~ 日本語「あん・えん・いん・おん・うん」に近い

(その他) ai→あい, ei→えい, ou→おう, ae→英語の「æ」に近い

短母音 ; a, e, i, o, u 日本語の「あ・い・う・え・お」の短め

子音 ; k, kh

x

q

h

g, gh, g

s

sh (ʃ)

t, T, th, Th

d, D, dh, Dh

c (tʃ)

r, R, rh, Rh,

l

w

n

m

y

b, bh

p, ph

f

j, jh

z

※日本人には難しいが、会話上無視して差し支えないもの。

帯気音 ; tha→た, dha→だ, kha→か, pha→ぱ, bha→ば, jha→じゃ, rha→ら

そり音 ; Ta→た, Da→だ, Ra→ら

※練習が必要なもの。

x, q, g, l, r

Ⅱ. 名詞・代名詞

名詞の性と複数形

ウルドゥ語には男性名詞と女性名詞がある。

1. 男性名詞

「a-」の語尾で終るものが多い。

例；kutta- (犬), nalka- (蛇口), kha-na- (食べ物), souda- (品物), anDa- (卵), ta-la- (錠), jhagRa- (争い), xoda- (神) など。(例外；da-wa- (薬) など)

男性を表す名詞

例；laRka- (少年), be-Ta- (息子), bakra- (雄羊), bha-i- (兄弟), ba-p (父), mard (男), a-dmi- (人)

上記に入らぬもの

paha-r(山), ba-har(外), sama-n(荷物, 道具), hospita-l(病院), insa-n(人間), ghar(家=home), maka-n(家=house), ka-gaz(紙), ka-m(仕事), a-ra-m(休息) など

2. 女性名詞

「i-」の語尾で終るものが多い。

例；bi-li- (猫), kursi- (椅子), bijuli- (電気), safa-i- (掃除), ke-ci- (はさみ), ca-bi- (鍵), alma-ri- (棚), dawa-i- (薬), xoshi- (幸せ), sui- (針) など

[例外=男性名詞；bha-i- (兄弟), a-dmi- (人), ajunabi- (外人), ja-pa-ni- (日本人), afga-ni- (アフガン人), pa-kista-ni- (パキスタン人) など]

女性を表す名詞

laRki- (少女), be-Ti- (娘), bakri- (雌羊), bahⁿ(姉妹), ma~ (母), ourat(女) など
「-at」で終るもの

zaru-rat(必要), ima-rat(建物), oudat(習慣) など

上記に入らぬもの

jagah(場所), ci-z(もの), me-z(机), ba-t(事), mashi-n(機械), pensil(鉛筆) など

複数形の作り方

1. 男性名詞

① 語尾「a-」で終るもの → 「e-」に変える。

e-k laRka- (一人の少年) → do- laRke- (二人の少年たち)
be-Ta- (息子) → be-Te- (息子たち)

② その他は変化なし。

e-k sama-n (一個の荷物) → do- sama-n (二個の荷物)
e-k bha-i- (一人の兄弟) → do- bha-i- (二人の兄弟)

2. 女性名詞

① 語尾「i-」で終るもの → 「iya~」に変える。

e-k laRki- (一人の少女) → do- laRkiya~ (二人の少女たち)
be-Ti- (娘) → be-Tiya~ (娘たち)

② 子音で終るもの → 「e~」をつける。

e-k me-z (一個の机) → do- me-ze~ (二つの机)
pensil (鉛筆) → pensile~
ci-z (もの) → ci-ze~

形容詞の語尾「a-」の時、男性名詞につく時は「a-」、女性名詞につく時は「i-」に変化。

男性名詞

acca- kha-na- (よい食事)
acca- laRka- (よい少年)
acca- mousam (よい天気)
acca- mulk (よい国)
pura-na- hospita-l (古い病院)
apna- sama-n (自分の持物)
naya- maka-n (新しい家)
me-ra- be-Ta- (私の息子)
a-p ka- ka-m (あなたの仕事)
u~ca- baha-r (高い山)

女性名詞

acci- kursi- (よい椅子)
acci- laRki- (よい少女)
acci- me-z (よい机)
acci- ba-t (良い事)
pura-ni- ci-z (古い物)
apni- marzi- (自分の決定)
nayi- mashi-n (新しい機械)
me-ri- be-Ti- (私の娘)
a-p ki- zami-n (あなたの土地)
u~ci- ima-rat (高い建物)

※ 名詞の性は、語尾 a- の付く形容詞をセットにして記憶すれば容易。

※ 複数名詞の時は、形容詞の語尾 a- は；男性名詞の時に e- に変えるのみ。

例； e-k acca- laRka- → do- acce- laRke-
e-k acci- laRki- → do- acci- laRkiya~

斜格形（後置詞につく名詞形）

※ 後置詞; ka-, ke-, ki- (--の), ko- (--に), par(--の上に), me~ (--の中に)
se- (--から), tak(--まで) など

1. a- で終わる名詞

	(斜格形)		(斜格形)
男・単数 laRka-	laRke- ka-	女・単数 laRki-	laRki- ka-
男・複数 laRke-	laRko~ ka-	女・複数 laRkiya~	laRkiyo~ ka-
bacca-	bacce- ka-	bacci-	bacci- ka-
bacce-	bacco~ ka-	bacciya~	bacciyoy~ ka-

2. 子音で終わる名詞

	(斜格形)		(斜格形)
男・単数 deraxt	deraxt ka-	女・単数 me-z	me-z ka-
男・複数 deraxt	deraxto~ ka-	男・複数 me-ze~	me-zoy~ ka-

3. 名詞に伴う修飾語の変化

① a- の語尾をとる修飾語（これ以外は変化しない）

	(斜格形)		(斜格形)
u~ca- deraxt	u~ce- deraxt ka-	u~ci- me-z	u~ci- me-z ka-
u~ce- deraxt	u~ce- dearaxto~ ka-	u~ci- me-ze~	u~ci- me-zoy~ ka-

② ye(この), wo(あの), kya(何の) が着いた場合

ye bacca-	is bacce- ka-	ye bacci-	is bacci- ka-
ye bacce-	i~ bacco~ ka-	ye bacciya~	i~ bacciyoy~ ka-

単数 ye, wo, kya -----> 斜格形 is, us, kis に変化

複数 ye, wo, kya -----> 斜格形 i~, u~, ki~ に変化

代名詞

	(単数)	(複数)
一人称	mae	ham
二人称	tum, to	a-p
三人称	wo, ye	wo, ye

日常会話では、tum は「おまえ」で、目下の者、子供だけに使う。to は神様と乳児だけ。ウルドゥ語では複数にすると丁寧表現となる。従って、口語では以下のようにして大体おかしくない。(wo, ye は、「あれは・これは」、「あの・この」という意味にも使う。)

	(単数)	(複数)
一人称	mae (私は)	ham (私たちは)
二人称	a p (あなたは)	a p lo g (あなたたちは)
三人称	wo, ye (あの人は、この人は)	wo, ye (あの人たちは、この人たちは)

※ 代名詞所有格 (語尾 a- は形容詞と同様に変化)

me-ra-	(私の)	hama-ra-	(私たちの)
a p ka	(あなたの)	a p logo~ ka	(あなたたちは)
us ka-, is ka-	(彼の、この人の)	u~ ka-, i~ ka-	(彼らの、この人たちの)

※ 代名詞の斜格 (後置詞につく代名詞, ko-を付けて)

mujh ko- = mujhe	(私に)	ham ko- = hame~	(私たちに)
a p ko	(あなたに)	a p lo go~ ko	(あなたたちに)
us ko-, is ko-	(彼に、この人に)	u~ ko-, i~ ko-	(彼らに、この人たちに)

u~ ko-, i~ ko- は「あの方に、この方に」という敬語にもなる。

unhe~(あの人たちに), inhe~(この人たちに) もよく用いられる。

lo-g (人々)は、人を表す名詞にしばしば付いて、「〇〇たち」となる; (例)staff lo-g (スタッフたち), japa-ni- lo-g(日本人たち), afga-ni- lo-g(アフガン人たち)など

Ⅲ. 動詞 ho-na-

(会話)

sala-m, ji-	こんにちは。
kya- ha-l hae ?	いかがですか。
kaise- he~ ?	
Thi-k he~ ?	
Thi-k hu~, shu-kria, alhamdulella.	元気です。ありがとう。おかげさまで。
a-p kaise~ he~ ?	あなたは、いかが。
xeiri-yat se he~ ?	ご無事ですか。(挨拶)
a-j mousam acca- hae na.	今日は天気がいいですね。
ji-, bahot acca- hae.	はい、とても良いです。
japan me~ mousam kaisa- hae ?	日本では天気はどうですか。
garm hae ?	暑いですか。
ji- nahi~,	いいえ、
abhi- ja-pa-n me~ bhi- mousam acca- hae.	今は日本でも天気は良いです。
a-p ko kya- takli-f hae ?	あなた、どこが悪いですか。
dard hae ?	痛いのですか。
kidhar dard hae ?	どこが痛いのですか。
idhar bahot dard hae.	ここが大変痛いのです。
mujhe injekshon ca-hi-ye	注射して欲しいのです。
na, ye me-ra- ka-m to- nahi- .	いえ、それは私の仕事ではありません。
ye Doktor sa-b ka ka-m hae.	先生(医師)の仕事です。
abhi- mujhe waqt nahi~ hae.	今、私は時間がありません。

(ことば)

sala-m, ji-	挨拶(朝・昼・晩, いつでもよい)
assala-ma leikum	挨拶(正式な言い方で「平安汝にあれ」の意)
waleikum assala-m	assala-m leikum に対する返事

hae	です, あります (英語の is に相当する)
he~	です, あります (英語の are に相当する)
kaisa-	どんな
kya-	何
ha-l	m. 状態 (kya- ha-l hae ? で「ご機嫌いかが?」という挨拶)
Thi-k	よい, 良好だ
hu~	です, あります (英語の am に相当する)
shu-kria	ありがとう
alhamdulillah	おかげさまで (アラビア語だがイスラム社会で共通)
a-p	あなた
xeiriyat	f. 無事, 平安
_ se	-- から (xeiriyat se he~ ? で決まった言い方の挨拶)
a-j	今日
mousam	m. 天気
acca-	よい
_ na	-- だな, -- だね
_ me~	-- の中に, -- では
bhi-	も
bahot	大変
garm	あつい
ji-, nahi~	いいえ
ji-, ha~	はい
abhi-	今
ko-	-- に, -- にとって
takli-f	m. 困難, 迷惑, 困った事
dard	m. 痛み
kidhar	どこに
idhar	ここに
mujhe	私に, 私にとって
ca-hi-ye	-- が要る
me-ra-	私の
ka-m	仕事
Doktor	医者
sa-b	(敬称)
_ ka-	-- の
waqt	時間

ho-na- (英語のbe動詞)現在形の使い方

mae(私) ----- hu~	ham(私たち) ----- he~
a-p(あなた) ----- he~	a-p lo-g(あなたたち) - he~
wo, ye(彼、この人) --- hae	wo, ye(彼ら、この人ら) - he~

叙述「〇〇はーです」の表現

mae ja-pa-ni- hu~. (私は日本人です。)
a-p Doktor he~ ? (あなたは医者ですか。)
wo pa-k hae. (それは綺麗です。)
ye acca- hae. (これは良いです。)
wo xara-b hae. (あれは悪いです。)

存在「あります」の表現

yaha~(=idhar), waha~(=udhar) --- hae.	ここに、あそこに---があります。
--- nahi~ hae.	---がありません。

-- me~ -- hae.	---の中に、---があります。 ---では---です。		
-- par -- hae.	---の上に、---があります。		
-- ke- andar	の中に	-- ke- ba-har	の外に
-- ke- sa-th	と共に	-- ke- bagair	以外に
-- ke- u-par	の上に	-- ke- ni-ce-	の下に
-- ke- a-ge-	の前に	-- ke- pi-ce-	のうしろに
-- ke- pas	の側に		

(例) waha~ bi-li- hae. (あそこに猫がいます。)
dawa- me-z par hae. (薬はテーブルの上にあります。)
qalam dero-z me~ hae. (ペンは引き出しにあります。)
hospita-l me~ bohohot mari-z he~. (病院にたくさんの患者がいます。)
dawa-xa-na hospita-l ke- a-ge- hae. (薬屋は病院の前にあります。)

所有「持っています」の表現

me-re- pas --- hae. (I have) hama-re- pas --- hae. (We have)
a-p ke pas --- hae. (You have) a-p lo-go~ ke pas -- hae. (You have)
us ke pas --- hae. (He has) u~ ke pas --- hae. (They have)

(例) a-p ke- pas ca-bi- hae ? (あなたは鍵を持っていますか。)
wo kita-b us ke- pas hae. (その本は彼が持っています。)
me-re- pas paisa- nahi~ hae. (私はお金を持っていない。)

家族構成の表現

me-re- do- bha-i- hae. (私は2人の兄弟がいます。)
a-p ke kitne- bacce- he~ ? (あなたは何人の子供がいますか。)
me-ri- do- bah'n our e-k bha-i- hae. (私は2人の姉妹と1人の兄弟がいます。)

(その他の主な表現)

__人__ ko- __物__ pasand hae. (__は__が好きです。)
__ ko- __ mua' lu-m hae. (__は__が分かっています。)
__ ko- __ shakk hae. (__は__が疑わしいです。)
__ ko- __ yaqi-n hae. (__は__を確信します。)
__ ko- __ patah hae. (__は__を知っています。)
__ ko- __ nafrat hae. (__は__が嫌いです。)
__ ko- __ zaru-rat hae (__は__が必要です。)
__ ko- __ afso-s hae. (__は__が悲しい。)
__ ko- __ xushi- ki ba-t hae. (__は__が嬉しい事です。)

(例) ye a-p ko- zaru-rat hae. (これはあなたに必要です。)
mari-zo~ ko- injekshon pasand hae. (患者たちは注射が好きです。)
mujhe patah nahi~. (私は知らない。)
a-p ko- mua' lu-m hae ? (あなたはお分かりですか。)
lo-go~ ko- juza-m nafrat hae. (人々はらいを嫌います。)
mujhe afso-s hae. (私は悲しい。)

*この表現はウルドゥ語で大変多い。「人称代名詞の斜格形 + ko- 」の組合せをくりかえすと、

(後置詞 ko ; 英語の "for, to" に相当)

mujh ko- (= mujhe) 私に ham ko- (= hame~) 我々に
a-p ko- あなたに a-p ko- (a-p lo-go~ ko) あなたたちに
us ko- 彼に u~ ko- (u~ lo-go~ ko) あの人たちに
is ko- この人に i~ ko- (i~ lo-go~ ko) この人たちに

比較級表現

A, --B-- se ----- hae.	A は B よりも ----- です。
sab se ----- hae.	最も ----- です。
our ----- hae.	もっと-----です。

(例) wo ke~ci- us se baRa- hae. (あのハサミはこれより大きい。)
ye ourat sab se xubsu-rat hae. (この女性が一番美しい。)
our co-Ta- wa-la- hae ? (もっと小さいやつがありますか。)
dunyah me~ sab se baRa shaher To-kyo- hae. (世界で最も大きな町は東京です。)

ca-hi-ye の使い方

- | |
|--------------------|
| ① 単数名詞 + ca-hi-ye |
| ② 複数名詞 + ca-hi-ye~ |

名詞の性に無関係に変化し, 「○○が要ります」をあらわす。

(例) a-p ko- kya- ca-hi-ye ? ca-i- ya- ko-fi- ? (何が要りますか。お茶? コーヒー?)
e-k ka-gaz ca-hi-ye. (一枚紙が要ります。)
mujhe qalam ca-hi-ye. (私はペンが要ります。)
kitne- ca-hi-ye~ ? (いくつ要りますか。)
do- ca-hi-ye~. (2本要ります。)
mujhe paisa- ca-hi-ye. (私はお金が要ります。)

hona(英語のbe動詞)の過去形

現在形(…です、…があります)	(男女同形)		過去形(…でした。…がありました。)	(男性)・(女性)	
I <u>am</u>	hu~		I <u>was</u>	tha-	thi-
you <u>are</u>	he~		you <u>were</u>	the-	thi~
he, she <u>is</u>	hae		he, she <u>was</u>	tha-	thi-
we <u>are</u>	he~		we <u>were</u>	the-	thi~
you <u>are</u>	he~		you <u>were</u>	the-	thi~
they <u>are</u>	he~		they <u>were</u>	the-	thi~

- (例) kal a-p kidhar thi~ ? (《女性に対して》昨日どこに居ましたか。)
- mae ghar me~ thi-. (私は家に居ました。)
- parso~ shaki-l hospita-l me~ nahi~ tha-. (一昨日シャキールは病院に居なかった。)
- pahle- bohohot mari-z nahi~ the-. (以前はたくさん患者は居なかった。)
- me-z par ke~ci- thi-. (テーブルの上にはさみがあった。)
- me-z par do- kita-be~ thi~. (テーブルの上に2冊の本があった。)

honaの未来形(…でしょう。…があるでしょう。)

	(男性)	(女性)
I will be	hu~ ga-	hu~ gi-
you will be	ho~ ge-	ho~ gi-
he, she will be	ho- ga-	ho- gi-
we will be	ho~ ge-	ho~ gi-
you will be	ho~ ge-	ho~ gi-
they will be	ho~ ge-	ho~ gi-

- (例) kal mousam acca- ho- ga-. (明日は天気が良いでしょう。)
- parso~ opere-shon ho- ga-. (あさって手術があります。)
- kal mae ghar me~ hu~ gi-. (明日は家に居ます。)
- sha-m ko- a-p idhar ho~ ge- ? (夕方あなたはここに居ますか。)
- ye zaxam zaru-r Thi-k ho- ga-. (この傷はきっと良くなるでしょう。)

IV. 普通動詞

(会話)

Doktor sa-b khidar hae ?

先生はどこですか。

muje patah nahi~.

知りません。

me-re- xiya-l me~ abhi- ghar me~ hae.

今、家に居ると思います。

to-ra- sabar karo- na.

ちょっと待ちなさいな。

jaldi- a-e- ga-.

すぐ来ます。

ke~ci- kidhar hae ?

ハサミはどこですか。

idhar hae.

ここにあります。

a-p ko ye cahi-ye ?

これが要るんですか。

ji-, abhi- zaxam ke- liye cahi-ye.

ええ、今、傷に(のために)要ります。

wo ke~ci- mujhe di-jiye.

そのはさみを私に下さい。

kab opere-shon kare~ ge- ?

いつ手術をしますか?

hospita-l me~ har ro-z nahi~ karte- ?

病院では毎日しないんですか?

bohot mari-z inteza-r kar rahe- he~.

たくさんの患者が待っています。

a-j opere-son kyu~ nahi~ hae ?

今日は手術が何故ないんですか?

abhi- sama-n taiya-r kar rahe- he~.

今、道具を準備しています。

do- ti-n din sabar karo-.

二・三日待ちなさい。

kal bhi- mushkil hae.

明日も難しいです。

acca- ?

え?

abhi- tak opere-shon sama-n taiya-r nahi~ ?

まだ手術道具が準備されてない?

to-, inteza-r karna- chahi-ye.

じゃ、待つ必要がある。(待たねばならない)

(ことば)

ke~ci-	はさみ
me-re- xiya-l me~	私思うに(I think)
to-ra-	ちょっと, 少し
sabar karo-	待ちなさい, 我慢なさい
sabar	m. 忍耐
jaldi-	早く
a-e- ga-	来るでしょう (三人称・単数男性形)
di-jiye	を下さい
zaxam	m. 傷
mari-z	m. 患者
har ro-z	毎日
kab	いつ
opere-shon	手術
kare~ ge-	するでしょう(二人称)
nahi~ karte-	しない(「します」の複数現在形 karte- he~ の否定形)
sama-n	m. 道具、荷物
kal	明日、昨日
kyu~	なぜ
mushkil	難しい
-- ke liye	--- のために
---tak	--- まで
abhi- tak	今まで、いまだに(まだ)
din	日、日にち
do- ti-n din	二三日
taiya-r hae	用意できている
inteza-r karna-	待つ
to-	じゃあ、で、えーと

動詞 karna- (する)の変化 (現在形と未来形)

1. (今)しています。(am, are, is doing)

	(男性)	(女性)
am doing	kar raha- hu~	rahi- hu~
are doing	rahe- he~	rahi- he~
is doing	raha- hae	rahi- hae

2. (いつも)します。してます。(I do. You, We, They do. He, She does.)

	(男性)	(女性)
一人称	karta- hu~	karti- hu~
二人称と全複数形	karte- he~	karti- he~
三人称	karta- hae	karti- hae

3. (これから)します。するでしょう。(will do.)

	(男性)	(女性)
一人称	karu~ ga-	karu~ gi-
二人称と全複数形	kare~ ge-	kare~ gi-
三人称	kare- ga-	kare- gi-

4. ください。(Do ! Please do. Will you do.)

ki-ji-ye (丁寧)
karo- (命令調)
karna- (ややビジネスライクだが失礼ではない)

※ karna- の形は、原形と呼ばれ、ふつう「すること」という名詞的表現で使われる。
 [kar] + [na-] から成り、kar を語幹という。現在形・未来形では語幹は変化せず、主語と性にしたがって na- の部分が置き換えられて変化する。

原型	語幹	現在幹	現在形(単数・男)
(例)karna- (する)	kar	karta-	karta- hae
ho-na- (なる)	ho-	ho-ta-	ho-ta- hae
a-na- (来る)	a-	a-ta-	a-ta- hae
ja-na- (行く),	ja-	ja-ta-	ja-ta- hae
baiThna- (すわる)	baiTh	baiThta-	baiThta- hae
de-khna- (見る)	de-kh	de-khta-	de-khta- hae
sunna- (聞く)	sun	sunta-	sunta- hae
likhna- (書く)	likh	likhta-	likhta- hae
paRna- (読む)	paR	paRta-	paRta- hae
xari-dna- (買う)	xari-d	xari-dta-	xari-dta- hae

(ho-na- は英語の be動詞, 普通動詞 become の二つがある)

※ karna- に形容詞や名詞をつけて「○○する」という表現がウルドゥ語には多い。

acca- karna- (良くする)	pa-k karna- (きれいにする)
sa-f karna- (かたづける)	safa-i- karna- (掃除する)
taiya-r karna- (準備する)	shru- karna- (始める)
xatam karna- (終わる)	inteza-r karna- (待つ)
sabar karna- (我慢する、待つ)	inteza-m karna- (用意する)
ehitera-m karna- (尊敬する)	pe-sh karna- (放送する)
fikar karna- (心配する)	patah karna- (知らせる)
ba-te~ karna- (話す)	ba-tci-t karna- (おしゃべりする)
nafrat karna- (嫌う)	pasand karna- (好む)
cakkar karna- (散歩する)	Thi-k karna- (良くする・なおす)
xara-b karna- (悪くする・こわす)	Tu-T karna- (こわす)
jhagRra karna- (争う・喧嘩する)	xiya-l karna- (気をつける)
ara-m karna- (休息する・やすむ)	karc karna- (消費する)
taqsi-m karna- (分割する)	pickari- karna- (注射する)
warzissh karna- (exerciseする)	ma-rissh karna- (すりこむ、マッサージする)
badar karna- (変える)	ikatti- karna- (曲げる)
si-dhah karna- (まっすぐする、伸ばす)	ira-j karna- (治療する)

動詞原形を使う表現

- (mujhe) karna- hae. (しなければならない。)
(mujhe) karna- tha-. (しなればならなかった。)
(mujhe) karna- paRe- ga-. (しなればならぬだろう。)
(mujhe) karna- ca-hi-ye. (する必要がある。)
(mujhe) karna- ca-hi-ye tha-. (する必要があった。)
(mae) karna- cahti- hu~. (したい。)
(mae) karna- cahti- thi-. (したかった。)

名詞的に使う例

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| -- karna- (to) acca- hae. | する事は良い。(= するのは良いことだ。) |
| (mujhe) -- karne- de-na-. | --させてくれ。 |
| -- karne- tak | --するまで |
| -- karne- ke- waqt | --する時 |
| -- karne- se- pah ^o le- | --する前 |
| -- karne- ke- ba-d | --した後 |
| -- karne- ke- lie | --するために |

※ wa-la- (もの)の使い方

(例)

- urdu- bo-lne- wa-la- (ウルドゥ語を話す者)
ka-m karne- wa-la- (仕事をする者)
our co-Ta- wa-la- (もっと小さいやつ)
our sasta- wa-la- di-ji-ye. (もっと安いやつを下さい。)
abhi- shuru- ho-ne- wa-la- hae. (今まさに始まろうとしています。)
pa-kista-n ko- ja-ne- wa-li- hu~. (パキスタンに行こうとしています。)

※ 未来形の ga-, gi- を取れば、不確実な推量・お伺い(英語のmay, would)などを表す。

(例)

- mae ye ka-m karu~ gi-. (私がこの仕事をやります。)
mae ye ka-m karu~ ? (私がこの仕事をしましょうか。)

(会話3)

- sala-m ji-, kidar ja- rahi- he~ ? こんにちは。どちらにお出掛けですか。
- ba-za-r ko ja- rahi- hu~. バザールに行っています。
ghar ke liye kuc souda wagaira xari-du~ gi-. 家のためにちょっと日用品などを買います。
- kya- ca-hi-ye ? 何が要りますか。
- sab se- pa^hle- sabzi- xari-dna- ca-hi-ye. まず野菜を買わねばなりません。
kidhar milti- hae ? どこにありますか。
- us duka-n me~ sasti- milti- hae. あの店で安く手に入ります。
udhar ja-iye. あそこに行きなさい。
wo acca- duka-n hae. 良い店です。
- Roti- our dhu-d. bhi- ca-hi-ye. パンとミルクも要ります。
Roti- ka duka-n, a-p ko- patah hae ? パンの店を知っていますか。
- pesha-war me~, a-j kal Roti- bohot mahe~gi- hae. ペシャワールでは最近パンは大変高い。
le-kin, na-n sasta- hae. mahe~ga- nahi~. だけど、ナンは安いです。高くありません。
na-n kha-o- na. ナンを食べなさいな。
ye bhi- mazedar hae. これもうまいですよ。
pa-kista-ni- lo-g har ro-z kha-te- he~. パキスタンの人々は毎日食べています。
mae a-p ke lie le- a-u~ ? あなたのためにもって来ましょうか。
- shu-kria. le-kin, mae xud xari-d sakti- hu~. ありがとう。でも自分で買えます。
acca- ji-, ija-zat ? xuda-hafi-z. じゃあ、また。さようなら。
- xuda-hafi-z ! phir mile~ ge-. さようなら。また会いましょう。
- i~shallah. (「神のお望みなら」= そうだと良いです)
 「たぶん sha-yed」ではない。

(会話4)

- kidhar se a-yi- he~ ? どこから来ましたか。
- mae ? ja-pa-n se a-yi- hu~. 私? 日本から来ました。
- ja-pa-n me~ kidhar rahti- thi~ ? 日本ではどこに住んでましたか。
- fukuoka hae. a-p ko patah hae ? 福岡です。ご存じですか。
- ji-, nahi~. To-kyo ke nazdi-k hae ? いいえ。東京の近くですか。
mujhe sirf To-kyo our osaka patah hae. 私は東京と大阪だけ知っています。
magar, ko-i- our ja-pa-ni- shaher mujhe mu' allu-m nahi~. でも、その他の日本の町はよく分かりません。
ye to- baRa- shaher hae ? 大きな都市なのですか。
- a-p ko na-ga-sa-ki- patah hae ? あなたは長崎はご存じでしょう。
- kyu~ nahi~. wo aTomik bom se mashu-r hae na. もちろん。原子爆弾で有名ですね。
amri-ka- ne ja-pa-ni- lo-go~ ko ziadah nuksa-n diya- tha-. 米国は日本人に大きな被害を与えました。
amri-ka-, angre-zi-, wo musalma-no~ ka dushman bhi- hae. 米国英国は、回教徒たちの敵でもあります。
wo hama-ra apna- saqa-fat xara-b karte- he~. 彼らは私たち自らの文化を壊します。
- ye paca-s sa-l hu-e-. pura-ni- ba-t hae. 50年前になります。古いことです。
bohot lo-g mar giye- he~. 多くの人々が死にました。
mujhe bhi- aisa- angre-z pasand nahi~. 私もこんな英米は好きではないです。
le-kin, is ki- wajah se- hame~ jang mang nafrat hae. しかし、この理由で私たちは戦争が嫌いなのです。
fu-ku-o-ka- to-, is na-ga-sa-ki- se nazdi-k hae. 福岡はその長崎の近くです。
ye kyu-shu- ala-qe- me~ sab se- baRa- shaher hae. 九州地方で一番大きな都市です。
wo aba-di- taqri-ban e-k miliyu~ hae. その人口は約100万です。
- ja-pa-n me~ kya- ka-m karti- thi~ ? 日本で何の仕事をしていましたか。
- PT ka ka-m karti- thi-. 理学療法士の仕事をしていました。

le-kin, idhar leprosi- ka ka-m karti- hu~. しかし、ここではらいの仕事をしています。

juza-m ke- lie bhi- qism qism warzissh he~. らいにでも様々なexerciseがあります。
kafi- ka-m karna-- hae. 充分仕事をしなければなりません。
ka-m to-, ziyadah hae. 仕事はね、たくさんあるんです。
is ke ila-wah, zaba-n bhi- si-kna- ca-hi-ye. この他に、言葉も勉強せねばなりません。
lo-go~ ka oudat ja-pa-n se farq hae. 人々の習慣も日本とは違います。
mae~ idhar kafi- masru-f hu~. 私はここでは十分忙しいんです。

ko-shussh ki-jiye. 頑張ってください。
mae a-p ke- lie du' a karu~ ga-. あなたのために祈っていますよ。
agar zaru-rat ho, ap ki madadd kar du~ ga-. 必要とあれば、お助けします。
ko-i- xidmat ? 何か私に出来ることは ?

baRi- mehrba-ni-. どうもありがとう。
mae acci- tarah ko-shushsh karu~ gi. よく頑張ってみますよ。

(ことば)

rahna-	住む
janna-	知っている(= know)
--ko- patah hae	--は、知っている
--ko- mu' allum hae	--には、分かっています
--ke- nazdik	--の近くに
magar	でも----
kyu~ nahi~	もちろん
mashu-r	有名な ...se- mashu-r ; --で有名な
nuksa-n de-na-	被害を与える
nuksa-n diya- tha-	(昔)被害を与えた
amri-ka-	米国
angre-z,	英国 engelesta~n とも言う。
aisa-	こんな
le-kin	しかし magar とほぼ同じ。
wajah	f. 理由
is ki- wajah se-	この理由で、だから (is lie と同じ。)
ara-mi-	f. 平和
jang	m. 戦争

jang mang	戦争やな んかは (語呂合わせ。mang に意味はない)
nafrat	f. 嫌悪
musalma-n	イスラム教徒
dushman	m. 敵
ela-qah	m. 地方
aba-di-	f. 人口
juza-m	m. らい
warzissh	f. 練習, exercise
warzissh karna-	練習する
qism qism	様々な
zaba-n	f. 言葉、舌
si-kna-	学ぶ
audat	f. 習慣
farq	m. 相違 …se- farq hae ; …と異なる
masru-f	忙しい
du' a	f. 祈り
a-p ki- du' a hae	おかげさまで。
xidmat	f. 奉仕
ko-i- xidmat ?	何かお役に立てることは？ (普通は別 れぎわの社交辞令)
--ki- madad	--の(ための) 助け
madad karna-	助ける meri madad kijiye. (=Please help me.)
zaru-rat	必要
acci- tarah	良く
ko-shushsh karna-	努力する
--ke- ila-wa	--以外に
baRi- mehrba-ni-	大きな 親切 (どうもありがと)

動詞の過去表現(ja-na-, karna- の変化で)

1. 過去の日常的な行い (—していました。—していたものです。英語の used to do)
[現在分詞] + [ho-na-の過去形]

	(男性)	(女性)
単数形主語(私, 彼, それ, これ, など)	karta tha-	karti thi-
複数形主語(我々, 彼ら, あなた, など)	karte the-	karti thi~

2. 過去進行形 (—していたところでした。英語の was doing, were doing)

	(男性)	(女性)
単数形主語(was doing)	kar raha- tha-	kar rahi- thi-
複数形主語(were doing)	kar rahe- the-	kar rahi- thi~

3. 単純過去 (単に過去の事実を述べる。英語の did)

①自動詞 (ja-na- 「行く」の過去分詞 giya-)

	(男性)	(女性)
単数形主語	giya-	iyi-
複数形主語	giye-	iyi~

②他動詞(karna- の過去分詞 kiya-)

語尾変化は目的語の性と数に従い, 主語に後置詞「--ne」が着く。

	(男性名詞)	(女性名詞)
単数目的語	kiya-	kiyi-
複数目的語	kiye-	kiyi~

(例)

- mae ne e-k ka-m kiya-. (私は或る仕事をしました。 ka-m ; 単数男性名詞)
 mae ne do-no~ ka-m kiye-. (私は両方の仕事をしました。 ka-m ; 複数男性名詞)
 ham ne ba-tci-t kiyi-. (私たちはおしゃべりした。 ba-tci-t ; 単数女性名詞)
 ham ne ba-te~ kiyi~. (私たちは話し合いました。 ba-te~ ; 複数女性名詞)

4. 近い過去（一しました。一したところです。英語の have done, did）
 [過去分詞] + [ho-na-の現在形]

①自動詞（ja-na- の過去分詞 giya-）

	(主語が男性)	(主語が女性)
一人称	giya- hu~	giyi- hu~
二人称	giye- he~	giyi- he~
三人称	giya- hae	giyi- hae

②他動詞

	(男性名詞)	(女性名詞)
単数 目的語	kiya- hae	kiyi- hae
複数 目的語	kiye- he~	kiyi~ he~

5. 遠い過去（（以前に、すでに）一しました。（昔）しました。had done）
 [過去分詞] + [ho-na-の過去形]

①自動詞

	(男性)	(女性)
単数形主語(私, 彼, それ)	giya- tha-	giyi- thi-
複数形主語(我々, 彼ら, あなた)	giye- the-	giyi- thi~

②他動詞

	(男性名詞)	(女性名詞)
単数目的語	kiya- tha-	kiyi- thi-
複数目的語	kiye- the-	kiyi- thi~

動詞過去形・過去表現(2)

(過去分詞の作り方)

① 規則変化動詞 ; 語幹に "a-", 母音で終わるものは"ya-"を付ける。

例 (三人称・男性形で示す)

	(現在形)	(過去形)
<u>kha</u> -na- (食べる)	kha-ta- hae	kha-ya-
<u>kah</u> na- (言う)	kahta- hae	kaha-
<u>bo</u> -l ^{na} - (話す)	bo-lta- hae	bo-la-
<u>bata</u> -na- (告げる)	bata-ta- hae	bata-ya-
<u>bana</u> -na- (作る)	bana-ta- hae	bana-ya-
<u>cal</u> na- (ゆく)	calta- hae	cala-
<u>a</u> -na- (来る)	a-ta- hae	a-ya-
<u>mil</u> na- (出会う)	milta- hae	mila-
<u>de</u> - <u>kh</u> na- (見る)	de-khta- hae	de-kha-
<u>de</u> - <u>kha</u> -na- (見せる)	de-kha-ta- hae	de-kha-ya-
<u>bhu</u> -l ^{na} - (忘れる)	bhu-lta- hae	bhu-la-
<u>sun</u> na- (聞く)	sunta- hae	sun-a-
<u>pi</u> -na- (飲む)	pi-ta- hae	pi-ya-
<u>rak</u> na- (置く)	rakhta- hae	rakha-
<u>samaj</u> na- (理解する)	samajhta- hae	samajha-
<u>samaj</u> ha-na- (解らせる)	samajha-ta- hae	samajha-ya-
<u>rah</u> na- (住む)	rahta- hae	raha-
<u>xari</u> -d ^{na} - (買う)	xari-dta- hae	xari-da-
<u>paka</u> -na- (料理する)	paka-ta- hae	paka-ya-
<u>dho</u> -na- (洗う)	dho-ta- hae	dho-ya-
<u>le</u> -a-na- (もって来る)	le-a-ta- hae	le-a-ya-

② 不規則変化動詞 (6種類のみ)

<u>ho</u> -na- (なる)	ho-ta- hae	hu-a-
<u>karn</u> a- (する)	karta- hae	kiya-
<u>ja</u> -na- (行く)	ja-ta- hae	giya-
<u>le</u> - <u>ja</u> -na- (もって行く)	le-ja-ta- hae	le-giya-
<u>de</u> -na- (与える)	de-ta- hae	diya-
<u>le</u> -na- (取る)	le-ta- hae	liya-

※ 会話でよく使われる過去表現

1. (語幹)---diya hae. (相手のために)---してあげました。
2. ---liya hae. (自分のために)---しました。
3. ---giya hae. (強調的に) ---したのです。
4. ---rakha hae. ---しておきました。

※ 過去他動詞文の主語変化

mae	→ mae ne	ham	→ ham ne
a-p	→ a-p ne	a-p lo-g	→ a-p logo~ ne
wo, ye	→ us ne, is ne	wo, ye	→ unho~ ne, inho~ ne
koun	→ kis ne	koun	→ ki~ ne

(例)

- mae ne kha-na- kha-ya- hae. (私は食事を食べました。)
- kis ne ye ka-m kiya- hae ? (誰がこの仕事をしましたか。)
- ham ne me-z pa-k kiyi- hae. (私たちは机をきれいにしました。)
- a-p ne ye sama-n taiya-r kiya- hae ? (あなたはこの道具を準備しましたか?)
- us ne kursi- le-a-yi- hae. (彼は椅子をもってきました。)
- us ne sama-n le-a-ya- hae. (彼は道具をもってきました。)

※ 時間に関する副詞

a-j	今日	fouran	直ちに
kal	昨日, 明日	e-k dam	突然
parso~	一昨日, あさって	a-histah a-histah	徐々に
tarso~	三日前, 三日後	jaldi- jaldi-	急速に
a-indah	将来	hame-shah	常に
pah°le-	以前に, 先に	kabhi- kabhi-	時々
agle- hafte-	来週	abhi-	今
picle- hafte-	先週	subah ke- waqt	朝の時間に
agle- mahine-	来月	do- paher ke- ba'd	午後
picle- mahine-	先月	subah ko-	朝に
agle- sa-l	来年	sha-m ko-	夕方に
picle- sa-l	昨年	din me~	日中
ba'd me~	あとで	aksar	しばしば
to-ri- de-r ke- ba'd	もう少しして	ra-t ko-	夜に
ti~ din ke ba'ad	3日後に	pa~c din se pah°le-	5日前に
e-k mahine- me~	1ヵ月で	is sal me~	今年中に

V. 疑問詞・関係代名詞

疑問詞

一般に指示代名詞（日本語の「これ・それ・あれ→どれ」）に対応する。

（例）

ye (これ)	ye (この人)	yaha~ = idhar (ここ)
wo (あれ)	wo (あの人)	waha~ = udhar (あそこ)
kya- (何)	koun (誰)	kaha~ = kidhar (どこ)

aisa- (こんな)	aise- (こんなふうに)	itna- (このくらい)
waisa- (あんな)	waise- (あんなふうに)	utna- (あのくらい)
kaisa- (どんな)	kaise- (どんなふうに)	kitna- (どのくらい)

is ka- (この人の, これの)	i~ ka-
us ka- (あの人の, あれの)	u~ ka-
kis ka- (誰の, 何の)	ki~ ka-

kounsa- (どっち), kab (いつ), kyu~ (なぜ)

※ 疑問詞は必ずしも文頭に来なくてもよい。日本語と語順は全く同じ。

hospita-l ko- kab a-na- paRe-ga- ? (病院にいつ来なければなりませんか。)

a-p ka- na-m kya- hae ? (あなたのお名前は何ですか。)

abhi- kitne- mari-z da-xil he~ ? (今何人患者が入ってますか。)

ham kis ke- liye ka-m karte- he~ ? (我々は誰のために働いているのか。)

※ ye, wo, kya- は英語の this, that, what に相当するもので、名詞の修飾にも用いられる。

kya- bat hae ? 何の事ですか。

matlab kya- hae ? 意味は何ですか。

※ kis は kya(何)と koun(誰)の斜格形で極めてよく使われる。

人と物を区別するため、kis(誰), kis ba-t(何の事)が使い分けられる事もある。

kis wajah se- (何の理由で= kyu~)	kis taraf (どの方向に)
kis ke- liye (誰のために)	kis ba-t ke- liye (何のために)
kis ke- ba-re- me~ (誰について)	kis ba-t ke- ba-re- me~ (何について)
kis ko- (誰に)	kis tarah (どんなふうに= kaise-)

関係代名詞と仮定表現

1. 仮定表現 ① ありうる事の仮定 (もし---なら、---でしょう。)

agar -(未来形または過去形)-, to- -(未来形、現在形)-.

agar is dawa-iyā~ se- Thi-k na ho- ga-, to- phir mujhe patah karo-.

(もしこの薬で良くならないと、また私に知らせなさい。)

agar har ro-z pa-ni- se- safa-i- na kiya-, to- ye zaxam Thi-k na ho- ga-.

(もし毎日水できれいにしなかったら、この傷は良くならないでしょう。)

(たとえ---でも、---でしょう。) agarce-, ba-uju-d ke = 英語の even if

agarce- ba-rissh ho- gi-, mae a-u~ gi-.

(雨が降っても、私は来ます。)

仮定表現 ② 不可能な事の仮定; 現在幹 (karta-, ja-ta-, a-ta-など)を用いる。

agar jaldi- ira-j shuru- karta-, to- abhi- Thi-k ho-ta-.

(もし早く治療始めたら、今頃よくなっていたのに。)

agar angre-z nahi~ a-ta-, to- aisa- takli-f paidah nahi~ ho-ta-.

(もしアングレーズが来なかったら、こんなトラブルは起きなかったのに。)

仮定表現 ③ 不可能な願望; kashke- + 現在幹

kashke- sab insa-n ka- takli-f dunye- se- xatam ho-ta-.

(全ての人間の悩みが世界からなくなったらなあ。)

kashke- a-sma-n ke- ciriyo~ ki- tarah cal sakta-.

(空の鳥のように行けたらなあ。)

2. -----する時; jab -----, -----. (英語の when)

jab mae us ke- ghar ko- giya-, wo nahi~ tha-.

(私が彼の家に言ったとき、彼は家に居なかった。)

jab ba-rish a-ti- hae, catri- zaru-ri- hae.

(雨が降るときは傘が要る。)

※ jab tak ----- (----する時まで = 英語の untill)

jab tak a-p ka- zaxam Thi-k ho- ga-, kafi- ara-m karo-.

(あなたの傷が良くなるまで、十分休みなさい。)

3. 理由の表現 ; kyu~ke, cu~nke ----. (なぜなら----.)

mae a- nahi~ sakti-. kyu~ke- mujhe ziyadah ka-m he~.

(私は来れません。仕事がたくさんあるからです。)

※ is liye (だから), is ki wajah se(この訳で)で言い換える事ができる。

=mujhe ziyadah ka-m he~. is liye a- nahi~ sakti-.

(私は仕事がたくさんあります。だから,来れません。)

4. その他の接続詞

our	そして	ca-he- -- ca-he- --	であろうと--であろうと
ya-	あるいは	na sirf --, balke--bhi-	--だけでなく--も
warna-, nahi~ to	さもないと	junhi-	するや否や
ta-ke --	--するように	kahi~ ---na	しないように
magar, le-kin	しかし		
ju~ ju~	--につれて		

5. 主な関係詞

jis — us, jo- — wo, jaisa- — waisa- のコンビが多い。

wo mari-z abhi- inteza-r kar raha- hae, jis ka bi-ma-r juza-m hae.

(その病気がらいである患者が今待っています。)

jo- ci-z ma~gte- he~, wo de- do-.

(求めるものは与えなさい。)

jo- mari-z idhar a-ta- hae, wo hame-sha e-k tarah ira-j le-ta- hae.

(ここに来る患者は、いつも一様に治療を受けます。)

jaise- a-p ki- marzi- (kare~ ge-, waise- kare~ ge-.)

(あなたが決めるようにします。)

jaisa- de-s waisa- be-s.

(お国にはお国の習わし=郷に入っては郷に従え)

5. ke- の使い方

① " ---" (ということ)

mae ne- suna- hae, ke- _____. 私は_____と聞いた。(I heard, " ____")

lo-g kahte- he~, ke- _____. 人々は_____という。(They say, " ____")

a-p ne- kaha- ke- mae xud ye ka-m karu~ ga-.

(「自分でこの仕事をやる」とあなたは言いました。)

② 語幹 + kar ke- で二つの文を結ぶ。

daftar ko- ja- kar ke- telefu-n karo-.

(事務所に行って電話しなさい。)

pa-ni- me~ rakh kar ke- sa-f karo-.

(水につけて綺麗にしなさい。)

daftar ko- ja- kar ke- telefu-n karo-.

(事務所に行って電話しなさい。)

VI. 助動詞・数・命令形

助動詞

会話できわめて頻用される助動詞には次のようなものがある。

1. 語幹 + sakna- (できる) 英語の can に相当

ja-na- (強調)

de-na- (他人のためにする)

le-na- (自分のためにする)

rakhna- (しておく)

cu-kna- (してしまう)

(例)

mae udhar ja- nahi~ sakti-. (私は《女性》そこに行けません。)

a-p ye ka-m kar sakte- he~ ? (この仕事ができますか。)

mae wa-pas a- gayi- hu~. (私《女性》は帰って来ました。)

xatam ho- gaya- hae. (終わってしまった。)

Thak gaye- he~ ? (お疲れですか。)

ye de- do- ! (これをくれ。)

a-p ke-lie sasta- kar du~ ga-. (君のために安くしてあげよう。)

ye le- lo- ! (これを取れ。)

a-p ne dawa- kha- liyi- hae ? (あなたは薬をのみましたか。)

sama-n taiya-r kar rakha- hae. (道具は準備して置きました。)

abhi- kha-na- kha- cu-ki- hu~. (今ご飯を食べ終わった。)

2. 動詞原型 + cah^ona- (〇〇したい) の変化

pesha-war ko- wa-pas ja-na- cah^oti- hu~. (私は《女性》ペシャワールに帰りたい。)

wo chuTTi- le-na- cah^ota- hae. (彼は休みが取りたい。)

ham ye ka-m karna- cah^ote- he~. (私たちはこの仕事がしたい。)

3. (代名詞斜格) 動詞原型 + hae 又は cha-hiye (〇〇せねばならない)

(mujhe) ye ka-m jaldi- xatam karna- hae. (私は)この仕事を早く終えねばならない。)

(hame~) hame-sha du'a karna- hae. (私たちは)いつも祈らなければならない。)

jaldi- xatam karna- ca-hiye. (早く終えねばならない。)

4. 動詞原型(斜格) + de-na- (してやる)

mujhe ara-m karne- de-na-. (私を休ませて下さい。)

数

1 e-k	11 gya-rah	21 ikki-s	40 ca-li-s
2 do-	12 ba-rah	22 ba-i-s	50 paca-s
3 ti~	13 te-rah	23 te-i-s	60 sa-Th
4 ca-r	14 coudah	24 coubi-s	70 sattar
5 pa~c	15 pandrah	25 paci-s	80 assi-
6 ceh	16 so-lah	26 cabi-s	90 navve-
7 sa-t	17 satrah	27 satai-s	
8 a-Th	18 ata-rah	28 atai-s	
9 nou	19 u~ni-s	29 u~nti-s	
10 das	20 bi-s	30 ti-s	

0.5(半分) addha-	1.5 De-r	2.5 Dha-i
3.5 saRhe- ti~	5.5 saRhe- pa~nc	

100 e-k sou	1,000 e-k hazar (千)
200 do- sou	10,000 das hazar (1万)
300 ti~ sou	1,00,000 e-k lakh (10万)
500 pa~c sou	10,00,000 das lakh または e-k miliyo~ (100万)
	1,00,00,000 e-k karo-R (1000万)
	10,00,00,000 das karo-R (1億)
	1,00,00,00,000 e-k miriya-rd (10億)

(時間)

1時間 e-k ganta-	1日 e-k din	1週間 e-k hafta-
2時間 do- gante-	2日 do- din	2週間 do- hafte-
分 minit, daqi-qa	1ヵ月 e-k mahina-	1年 e-k sa-l
秒 sa-niya-	2ヵ月 do- mahine-	2年 do- sa-l

(時刻)

1時 e-k baje	1時半 De-r baje	3時15分 sawa- ti~ baje
2時 do- baje	2時半 da-i baje	3時45分 po-ne ti~ baje
3時 ti~ baje	3時半 saRhe- ti~ baje	
4時 ca-r baje	4時半 saRhe- ca-r baje	
5時 pa~c baje	5時半 saRhe- pa~c baje	
朝・午前 sobh, subah	正午 dopah°r	午後 dopah°r ke ba-d
夕方 sha-m	夜 ra-t	

(順番)

1番目の pah ^o la-	6番目の chaTa-
2番目の du-sra-	7番目の sa-twa~
3番目の ti-sra-	8番目の a-Twa~
4番目の coutha-	9番目の nouwa~
5番目の pa~ncwa~	(以下は---wa~ を付ける)

(曜日)

日曜日 itwa-r	yakshambe
月曜日 somowa-r	doshambe
火曜日 pi-r	seshambe
水曜日 bud	ca-rshambe
木曜日 jumera-t	pa-ncshambe
金曜日 ju' ma	ju' ma
土曜日 hafta, sani-cer	shambe

(計算 hisa-b)

(+) jammah (-) manfi- (×) zarbe (÷) taqsi-m
5 × 6 = 30 (pa~c zarbe ce masawi- ti-s)
8 + 3 = 11 (a-th jamah ti~ masawi- gya-rah)
10 - 4 = 6 (das manfi- ca-r masawi- ce)

命令形

日常使用されるのは次の3種類が殆どである。

1. 丁寧命令（「〇〇して下さい」） = [語幹]+[iye]
2. 中間的（ビジネスライクだが失礼でもない） = [原形]のまま
3. 命令的（くだけた言い方「〇〇しろ」） = [語幹]+[o-]

ja-na-	ja-iye	ja-o-
a-na-	a-iye	a-o-
bata-na-	bata-iye	bata-o-
kha-na-	kha-iye	kha-o-

※ 丁寧命令の例外は普通以下のものだけ

karna-	ki-jiye	karo-
le-na-	li-jiye	lo-（実際は le- lo- が多い）
de-na-	di-jiye	do-（実際は de- do- が多い）
pi-na-	pi-jiye	pi-o-

※ 特別丁寧な、きまった表現

baiThna-	tashri-f rakhiye	お座り下さい
a-na-	tashri-f le-a-iye	おいで下さい
ja-na-	tashri-f le-ja-iye	おゆき下さい
bata-na-	farmaiye	おっしゃって下さい

※ 禁止（命令形に mat をつける）

mat ki-jiye ! 〇〇してはいけません（丁寧な禁止）

mat karo- ! 〇〇するな（強い禁止）

mat karna- ! 普通

※ 否定形に伴う副詞

hargiz 決して(--ない)

kabhi- 決して(--ない)